



森 未向

丸尾 聡

松村 曜生

小林 達雄

溝上 教彦

水上 武

谷代克明△・中村信夫

豊臣 秀頼



中村信夫△・谷代克明

三好清海入道



望月 大助

三好伊三入道



田口 智也

海野 六郎



北島 広貴

根津 甚八

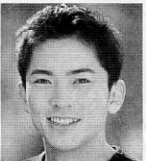


岡部 大吾

寛 十蔵



佐伯 和来



矢野 義人



吉原 清司



小澤 浩明

料 金/ 一般2,500円(当日3,000円)
 高校生以下1,500円
 【日時指定・全席自由】

前売り/岡部企画 TEL044-933-9754
 チケットぴあ TEL03-5237-9999

2000年。鮮やかに名作が蘇生しました。かつて、演劇は光り輝いていました。

1962年、まだ「安保闘争」の余韻が燻っている年に『真田風雲録』は上演されました。

『だが、日本にはブロードウェイを手本にしない音楽劇の流れもある。「三文オペラ」「セツアンの善人」など、社会批判性の強い劇作品で知られるドイツの劇作家ベルトルト・ブレヒトの影響を受けた、いわばブレヒト系の音楽劇だ。その先駆となったのは1962年、俳優座系劇団の合同公演で初演された福田善之作、林光作曲、千田是也演出の「真田風雲録」だった。関ヶ原の合戦から徳川体制確立までの時代をブレヒト的手法で描きつつ、そこに60年安保闘争における革新陣営内の対立の構図を巧妙に重ね合わせた音楽劇である。翌63年には、加藤泰の監督で同名の東映映画も出来た。この舞台を見て、若き日の井上ひさしは強い衝撃を受け、戯曲執筆をやめて放送作家に転向した。』(平成12年1月11日朝日新聞夕刊「舞台は語る」扇田昭彦より抜粋。)

『真田風雲録』は、それほどに鮮烈な舞台である。そして、この日本演劇史上まさに画期的な作品の影響は計り知れないものであった。時代を飛び越える福田善之の劇作術は新劇や商業演劇や大衆演劇やミュージカルの垣根を一挙に取り払ったのである。『真田風雲録』は強烈な生命力を宿した戯曲である。その生命力を岡部耕大は熱と腕力で抱き上げる。疾風怒濤の季節。『真田風雲録』は時代を超越した若者の群像劇でもある。いま、虚無感が漂う日本にこそ生きて戦うことの意味を問う『真田風雲録』の上演は熱望され、ついに実現した。林光の名曲はそのまま歌い継ぐが、舞台は斬新なものとなる。これは、まさに演劇の醍醐味である。「知って過ぎるか、知らずに過ぎるか」。君は問われている。

2000年春4月、東京に疾風が吹き荒れる。君を必ず熱くしてみせる。



小平 隆行



平沼 寧

千姫



杉崎 佳穂

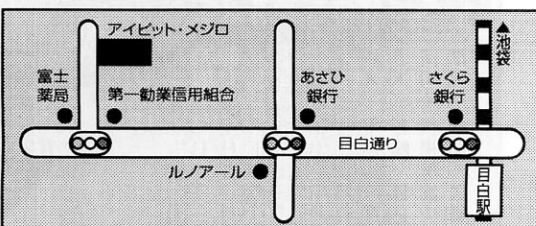


後東地 高史

講師



伊藤 美穂



馬車道 地下街 丸の内線 丸の内駅 丸の内線 丸の内駅

東宝会館 丸の内線 丸の内駅

3月30日(木) 19:00開演

横浜アートLIVE2000

関内ホール(小) TEL 045-662-1221

横浜市中区住吉町4-42-1 (JR地下鉄関内駅より徒歩4分)